

赤松金芳著「新訂和漢薬」より

生薬名 山嬰桃

新訂和漢薬 記載頁

376

基源 櫻桃: サクラ科ミザクラ [国訳本綱] *Prunus pseudo-cerasus* Lindl. (= *P. pauciflora* Bunge) の枝, 根, 葉, 花, 果実, 種子. 或はユスラウメ [大和本草, 和漢三才, 一本薬選, 本綱啓蒙] *P. tomentosa* Thunb. を充てる.

部位 枝;
根;
葉;
花;
果実;
種子 (桜桃核)

作用 枝:
無し.

根:
無し.

葉:
無し.

花:
無し.

果実:
無毒. 調中, 益気, 令人好顔色, 美志 [新修本草, 千金方, 千金翼方, 証類本草, 本草綱目]

種子 (桜桃核):
無し.

応用 枝:
雀卵, 斑駁 [本草綱目], 一切瘡毒 [本朝食鑑].

根:
寸白, 虻虫 [証類本草, 本草綱目].

葉:
蛇毒 [新修本草, 証類本草, 本草綱目].

花:
面黒粉滓 [本草綱目].

果実:
世精, 水穀痢 [証類本草, 本草綱目].

種子 (桜桃核):
麻疹, 瘡痘, 凍瘡, 喉唾, 眼皮生瘤 [本綱拾遺].

処方

備考 別名: 嬰桃, 山櫻桃 [本綱拾遺].